

もうすぐ選挙権 Vol.4

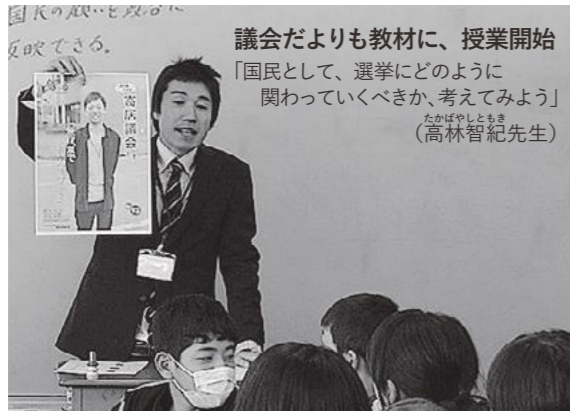
[用土小学校6年1組 公民授業]

議会だよりNo.93



### 「先生、無投票って何がいけないの？」

～ 寄居議会だより (No.93) を授業で活用 ～



議会だよりも教材に、授業開始  
「国民として、選挙にどのように関わっていくべきか、考えてみよう」  
たかばやしともき (高林智紀先生)

18歳選挙権の開始から3年。将来、若者世代に負担を集中させないためにも、当事者である若い世代の政治参加は喫緊の課題。寄居町議会でも、昨年の町議会議員選挙が初めて無投票に……。 「無投票でいいんですか？」のタイトルで緊急特集した寄居議会だより No.93 を用土小で教材として使うと聞いて、広報委員が授業を取材した。

\*\*\*\*\*

授業の冒頭で、国政選挙と2015年までの町議会議員選挙の投票率の推移を見た子ども達。「高齢者の投票率は高いけど、若い人は低い」「だんだん下がってきているみたい」  
先生：ここで、昨年の寄居町議会議員選挙の結果

を見てみよう。投票率は何パーセントくらいだったと思いますか？

「たぶん前より下がってるよね、どのくらいかな」  
先生：実は……投票率は0%でした。

「えっ、うそ!」「どういうこと?」と驚きの声。

\*\*\*\*\*

選挙に参加しなくちゃ、もったいない!

「投票しないのではなくて、投票できないってことなんだ」「そうしたら、自分たちの代表(議員)を選べないよね」「ちゃんとした考えを持たない人も議員になってしまうかも…」

子ども達のさまざまな気づき。配付された議会だよりのコピーを読み、選挙(無投票)に対して町民がどのように感じているかを知る。投票率の低下や無投票のデメリットをディスカッションし、模擬選挙も加えながらの授業はわかりやすく、「選挙に参加しなきゃ、もったいない!」ことを子ども達は気づいたようだ。

\*\*\*\*\*

教材となった寄居議会だより No.93 には、「誰かを選ぶことの難しさから逃げずに選択する準備を!」と、議会としての想いを込めた。

授業で我が町の議会だよりを真剣に読む子ども達も、6年後は選挙権。

これからも、議会だよりを通して「議会の想い」を届けたい。

(取材日: 2020.2.7)



自分達の住む町を「正しく知る」ことは、自分の将来と町の未来をつなげていくための大事な作業です。その姿勢は、真剣そのもの。

今号のキーワード

正しく知る

峯岸議長のChairman's Column

### 正しく恐れる ～新型コロナウイルス～



新型コロナウイルスの影響が深刻だ。感染リスクはもちろん、社会・経済に対するダメージも甚大である。平成の時代の大震災、または大規模風水害に加えて、ウイルス感染症対策という想定外の事態に困惑が広がっている。いま一番肝心なことは、大規模感染による医療崩壊を起こさないことだ。医療崩壊は、多くの人の命に直結する問題となる。新型コロナウイルスとの闘いは、長期戦になることを想定し、正しく恐れつつも、可能な限り日常を保っていくこと、取り戻していくことが重要だ。政治が人々の行動を制限することが難しい(また、適当ではない)以上、「共同体の中で生活している」という各人の自律が求められている。

### 議員必須アイテム

議会事務局のまなざし



本物の議員バッジを見て興奮する子どもたちに「つけてみる?」と、児童の胸に。議会を、議員をもっと身近に感じてほしい、そういう想いがバッジをつける手から伝わります。議員バッジが子どもたちとの距離を縮め、明るい声と笑顔で教室はひとつに。議員バッジには町民の声が詰まっています。

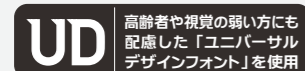
### 議会広報広聴特別委員会

委員長 鈴木詠子 副委員長 笠原則夫  
委員 権田孝史・保泉周平・中嶋文雄  
吉澤康広・大澤 博・田母神節子

発行責任者(議長) 峯岸克明



議会HP  
「議会だより  
関連資料」  
音で聴く  
議会だより



高齢者や視覚の弱い方にも配慮した「ユニバーサルデザインフォント」を使用

編集を終えて

3年連続!!

EDITORS  
NOTE.96

日々、16名の全議員が取材を重ね、寄居町民の声や本音をわかりやすく、上手に表現して一番に手に取って、読んでもらい、町民の声を伝達し、また議会や議員個々の考えをまとめて作成していくことを、今後も心がけて編集します。(吉澤)

### 寄居町議会の「進化×深化」

▼寄居議会だよりが全国コンクールで史上初の3連覇。町民皆さんの声を大切に、定位置にとどまらず常に進化する姿勢が評価されました▼予算審議では、議員が「町民と話し、一緒に考えた上で」臨みました。この3年間で、審議も深化しています。

(関連記事→ 歳出 P.10-11)

\* 今号の表紙(初のダブル表紙) \* まちだまさゆき みいこ 町田昌之さん・美井子さん(桜沢)

「ダブル表紙」に登場いただいたのは、桜沢で木材加工業を営む町田さんご夫妻。今号の特集「町の予算(歳入・歳出)」になぞらえて、仕事とプライベートの両面を撮影させていただきました。「一年中桜に出会える町よりい実行委員会」で活躍中。「桜で町を有名にしたい」と笑顔で話してくれました。



次回6月定例会は 6月2日(火) 開会予定 です (日程は変更になる場合があります)

\*93号の記事中に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。  
P.4無投票への声 20代:(誤) 石塚友香さん→(正) 石塚友佳さん